

市 民 交 流 課

○ 市民交流関係

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター指定管理者制度

平成16年4月に開設をし、同年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

期 間	委 託 金 額	指定を受けた管理者
<第1期> 自 16. 7. 1 至 17. 3. 31	円 7,828,000	特定非営利活動法人 いせコンビニネット
<第2期> 自 17. 4. 1 至 21. 3. 31	48,202,000	〃
<第3期> 自 21. 4. 1 至 24. 3. 31	46,777,000	〃
<第4期> 自 24. 4. 1 (予定) 至 29. 3. 31	59,832,000	〃

(2) 事業の内容

ア いせ市民活動センター運営事業

- ・市民活動の拠点として、また中間支援施設としての市民公益活動の相談、ホームページ、情報誌（「パルティ」年4回発行）等を活用し、市民活動に関する情報の収集及び提供等を行った。
- ・交流事業などを通して、さまざまな団体と結びつき、広く市民活動への理解を深めた。

開催日	内 容
25. 5. 16	登録団体意見交換会（登録団体の交流及びセンター機能の充実を図る）
25. 6. 8	東日本大震災復興支援チャリティーLIVE Vol. 4
25. 7. 20	チャリティーコンサート第13回ミュージックコミュニケーション （東日本大震災復興支援チャリティーコンサート）
25. 8. 22	登録団体交流会（登録団体間の情報交換及び意見交換）
25. 11. 21	救急救命講習会（登録団体及び自治会参加による人命救急時の対応）
25. 12. 21	チャリティーコンサート第14回ミュージックコミュニケーション （東日本大震災復興支援チャリティーコンサート）

26. 1. 18	東日本大震災復興支援チャリティーLIVE Vol. 5
26. 3. 29	第4回いせ市民活動フェスティバル（登録団体及び市民との交流）

・ワーキングスペースに印刷機、コピー機、レンタルPC（センター内の利用に限る）を設置。
また、会議スペース、フリースペース、情報スペースを開放し市民活動を支援した。同時に、市民活動支援パソコン講習会等も開催した。

イ センター管理業務

施設利用の登録、使用許可及び施設・設備及び機器の維持管理

（施設稼働状況）

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A会議室	B会議室	1 Fホール			
21. 4. 1 ～ 22. 3. 31	% 39.3	% 42.0	% 45.5	% 24.7	人 42,273	% 26.7	人 15,963
22. 4. 1 ～ 23. 3. 31	37.0	47.5	60.1	29.5	42,450	24.3	19,012
23. 4. 1 ～ 24. 3. 31	36.0	42.9	50.3	31.1	44,131	26.1	19,288
24. 4. 1 ～ 25. 3. 31	34.2	41.2	47.3	28.3	43,737	24.9	14,778
25. 4. 1 ～ 26. 3. 31	41.7	45.1	52.0	29.2	47,116	22.6	15,351

（注）平均稼働率・・・稼働実績時間数／（稼働可能時間（11時間）×稼働可能日数）×100

（登録団体数）

基準日	登録団体数
22. 3. 31	143
23. 3. 31	156
24. 3. 31	153
25. 3. 31	162
26. 3. 31	174

ウ 工事関係

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岩湫 1 丁目 地 内	(注) (注1) いせ市民活動センター飛散 防止フィルム貼付工事	飛散防止フィルム貼 一式	円 2,205,000	25.7.5	25.9.2
岩湫 1 丁目 地 内 ほか	(注) いせ市民活動センター(北 館)ほかエレベーター防災対 策改修工事	いせ市民活動センター (北館)エレベーター改修 一式 伊勢市生涯学習センター エレベーター改修 一式	(注2) 51,975,000	25.9.13	25.12.26

(注) 建築住宅課施行

(注1) 平成24年度から繰越

(注2) いせ市民活動センター分は15,435,000円

2 活性化活動事業

市内に活動拠点を置く地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し市民自治の担い手として継続的に活動ができるよう、その経費の一部を補助した。

平成25年5月19日に申請団体のプレゼンテーションによる審査会を開催し、交付団体を決定した(申請8団体、決定7団体のうち1団体交付決定取消し)。審査員には民間及び学識経験者から5名、県職員1名を委嘱した。

なお、補助金は補助対象経費の10分の8以内、10万円を上限額として交付した。

○対象事業

保健・医療又は福祉の増進、子どもの健全育成、社会教育、まちづくりの推進、学術・文化・スポーツの振興、環境の保全、災害救援、地域安全、人権の擁護又は平和の推進、国際協力、男女共同参画社会の促進、雇用機会の拡充支援、情報化社会の発展等を内容とする活動

○平成25年度交付団体(6団体)

団体名	事業名	交付額
伊勢市フロアボール連盟	第二弾「フロアボール体験教室」	円 100,000
福祉自助具の研修と製作の会	福祉自助具の研修と作製	100,000
和太鼓伊勢天翔	和太鼓の保存・伝承活動	100,000
常磐町史編集委員会	常磐町史の編集、印刷、製本及び洒配布	100,000
伊勢市南部地区民生委員児童委員協議会	広報紙「絆」	100,000
四郷地区コミュニティセンター地域交流室 運営委員会	四郷地区の絆づくりと活性化につとめる事業	100,000
合 計		600,000

3 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的に開催している。

平成 25 年度は 70 団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。

当日は幼稚園児によるマーチング、小学生の鼓笛、みこしや太鼓などのパレードのほか、前年に引き続き「斎王群行」も参加した。イベント広場では、よさこいソーラン、フラダンス、ヒップホップ、マジックなどのパフォーマンスが、会場一帯で地場製品の展示、販売など数多くの出展・出店があった。

また、実行委員会の企画として「カラオケの集い」のほか、2 日間のフィナーレとして来場者を含めた総参加型の「みんなで踊ろう!!伊勢音頭」を新たに開催し、賑やかな秋の伊勢を創出した。

- ・開催日 平成 25 年 10 月 12 日（土）、13 日（日）
- ・会場 高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線（尼辻交差点）～伊勢市駅周辺
- ・参加団体数 229 団体（6,252 人）
- ・来場者数 約 20 万人

4 伊勢市矢持会館管理事業

平成 21 年 4 月 1 日から休止していた農林漁業体験実習館を、平成 23 年 4 月 1 日から名称変更をし、集会施設として運営している。

- (1) 指定管理者 矢持町下村区
- (2) 委託金額 250,000 円（指定管理料）
- (3) 利用者数 1,180 人

5 地区連絡員事業

行政運営を円滑に、かつより効果的に行うため、市内に地区連絡員（178 人）を配置し、行政情報等の伝達を行った。

- (1) 市の広報紙等の配付（月 2 回）
- (2) その他市長が特に必要と認める職務

平成 25 年 3 月 31 日現在の世帯数で報酬額を算定

最多世帯数 一之木地区 1,335 世帯 最少世帯数 峰団地 11 世帯

平均世帯数 約 300 世帯（報酬総額 102,382,600 円）

○ コミュニティセンター関係

1 地区コミュニティセンター維持管理経費

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。

コミュニティセンター使用状況

(1) 豊浜地区コミュニティセンター (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
57	9	66	1,256	111	163

(2) 城田地区コミュニティセンター (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
87	39	126	2,213	281	766

(3) 沼木地区コミュニティセンター・農村環境改善センター (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

会議室利用状況					図書室利用状況	
会議室	生活研修室	営農相談室	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	件	人	人	冊
111	63	1	175	2,702	375	866

(4) 神社地区コミュニティセンター (みなとデイサービスセンターに併設) (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

図書室利用状況	
貸出人数	貸出冊数
人	冊
561	1,579

(5) 北浜地区コミュニティセンター (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
件	件	件	人	人	冊
95	39	134	2,430	292	786

(6) 浜郷地区コミュニティセンター (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
201 件	13 件	214 件	2,708 人	623 人	1,340 冊

(7) 宮本地区コミュニティセンター (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
170 件	141 件	311 件	3,692 人	214 人	752 冊

(8) 大湊地区コミュニティセンター (H25. 4. 1～H26. 3. 31)

会議室利用状況				図書室利用状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用者数	貸出人数	貸出冊数
74 件	40 件	114 件	1,698 人	456 人	1,070 冊

2 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
前山町 地内ほか	(注) (注1) 宮本地区コミュニティセンター ほか飛散防止等フィルム 貼付工事	宮本地区コミュニティセンター 飛散防止等フィルム貼 一式 城田地区コミュニティセンター 飛散防止等フィルム貼 一式 沼木地区コミュニティセンター 飛散防止等フィルム貼 一式	円 1,438,500	25. 8. 2	25. 9. 30

(注) 建築住宅課施行

(注1) 平成24年度から繰越

○ 国際交流推進事業関係

1 国際交流推進事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 外国人住民への支援

- ア 外国人研修制度により来日した中国人研修生対象の説明会を開催 (10回)
- イ 外国人のための生活ガイドの配布

伊勢市で生活する外国人住民の日常生活の利便を図るため、基本的な情報を掲載した「伊勢市生活ガイド」(日本語版、中国語版、ポルトガル語版、英語版)を随時配布した。

ウ 「外国人をサポートするための避難所運営訓練」等の開催

三重県国際交流財団に委託し、災害発生時の外国人住民への情報提供や避難所運営に関する実践的な訓練や外国人住民を対象とした避難所説明会を行った。

○避難所運営訓練

- ・日時 平成 25 年 11 月 2 日（土） 11：00～15：00
- ・場所 いせ市民活動センター
- ・参加人数 84 人（うち外国人 43 人）

○外国人住民を対象とした避難所説明会

- ・日時 平成 26 年 1 月 25 日（土） 13：30～15：30
- ・場所 いせ市民活動センター
- ・参加人数 61 人（中国 44 人、ブラジル 8 人、ベトナム 4 人、日本 5 人）

エ 防災ガイド等の外国人全世帯への配布

防災ガイド（中国語、ポルトガル語、スペイン語、英語、タガログ語、韓国語）等を市内在住外国人全世帯（特別永住者を除く）689 世帯へ配布した。

オ 三重県市町多文化共生ワーキングへの参加

外国人の定住化が顕著になる中、県内の外国人住民と共生する施策を考えるための多文化共生ワーキングが三重県及び 11 市町のメンバーにより開催され、計 12 回参加した。

（2）国際交流関係

ア 伊勢市国際交流協会

国際交流事業を通して、市民と外国の人々との交流、親善の促進と国際相互理解の増進を図り、世界平和の理念の達成に資するとともに、国際感覚あふれるまちづくりに寄与することを目的として活動している。市は、事務局としてその活動を支援し、市民とともに国際化に関する事業を推進している。

- 主な事業
- ・外国人住民のための日本語教室
 - ・国際理解講座
 - ・ホームステイ
 - ・世界の文化の紹介イベント
 - ・伊勢市駅前ボランティアタウンガイド
 - ・会報誌「フィロス」の発行 等

平成 26 年 3 月末会員数 個人会員 127 名、団体会員 6 団体、企業会員 2 企業

○ 災害ボランティアセンター関係

1 災害ボランティア推進事業

災害発生時に市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンター（以下、「センター」という）に関して、有事の際に円滑な運営ができるよう、関係団体との連携や新たな人材を育成するための取り組みや、センターの運営訓練等を行った（市社会福祉協議会への負担金により実施）。

(1) センター設置・運営マニュアルの見直し

前年度のセンター運営訓練での参加者からの意見を参考にしながら、センター設置・運営マニュアルを一部改正した。

(2) センター関係行事の実施

ア 関係団体との連絡会

- ・開催日 平成 25 年 8 月 29 日
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2階 保健会議室
- ・参加者 市職員 3 名、社協職員 7 名、伊勢市ボランティア連絡協議会 3 名、二見ボランティア連絡協議会 2 名、御菌町ボランティア連絡協議会 2 名、小俣町防災ボランティア 2 名、日赤奉仕団伊勢市地区 2 名、合計 21 名

イ 視察研修会

- ・実施日 平成 25 年 11 月 6 日
- ・視察先 京都市市民防災センター・京都市災害ボランティアセンター
- ・参加者 市職員 3 名、社協職員 8 名、二見ボランティア連絡協議会 4 名、御菌町ボランティア連絡協議会 5 名、小俣町防災ボランティア 2 名、日赤奉仕団伊勢市地区 5 名、合計 27 名

ウ コーディネーター養成講座

- ・開催日と受講者数
- 第 1 回 平成 25 年 11 月 30 日 25 名
- 第 2 回 平成 25 年 11 月 30 日 26 名
- 第 3 回 平成 25 年 12 月 7 日 24 名
- 第 4 回 平成 25 年 12 月 15 日 25 名
- 第 5 回 平成 25 年 12 月 15 日 25 名
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 2階 保健会議室

エ 運営訓練

- ・開催日 平成 26 年 1 月 18 日
- ・会場 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・参加者 市職員 5 名、社協職員 8 名、伊勢市ボランティア連絡協議会 11 名、二見ボランティア

ア連絡協議会 6名、御菌町ボランティア連絡協議会 7名、小俣町防災ボランティア 4名、日赤奉仕団伊勢市地区 15名、災害ボランティアコーディネーター養成講座修了生 13名、合計 69名

○ 男女共同参画関係

1 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」紙面を活用し、公募市民3人の企画編集による啓発記事「めざそや！共同参画」を年4回掲載した。

発行	内 容
5月1日号	①「男は仕事、女は家庭」に賛成？反対？ ②クイズの答えと解説 ③めざそや！三択クイズ
8月15日号	①大学生に聞く！「性差を意識したことは？」 ②この数字な～に？64% ③クイズの答えと解説
11月15日号	①男性にとって生きやすい社会とは？ ②この数字な～に？1.6倍 ③今どきのドラマ
2月15日号	①いつかは誰でも「おひとりさま」!? ②この数字な～に？43% ③アンパンマンのように

2 男女共同参画推進事業委託

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第2次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取り組みを行った。企画運営を公募市民14人で組織する「男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託して実施した。

(1) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画を推進するために、三重県内の男女共同参画センター5館と22市町が連携し、映画祭を開催した。

(伊勢市での開催状況)

開催日	開催場所	内 容	参加人数
25. 6. 22	いせトピア多目的ホール	映画「HOME 愛しの座敷わらし」上映	人 340

(2) 女性のためのスキルアップ講座の開催

結婚、出産などで仕事をやめた女性の再就職や社会に一步を踏み出す女性を支援するため、パソコン講座（3回の連続講座）を託児付きで開催した。

	開催日	開催場所	内 容	参加人数	託児
第1回	25. 7. 6	いせトピア パソコン室	パソコンの基本操作 ワード、エクセルの基礎	人	人
第2回	25. 7. 13			20	2
第3回	25. 7. 20			20	3
				19	3

(3) パートナーの日の啓発

男女がお互いを思いやり、感謝する日として条例で定めた「パートナーの日（8月17日）」を広く市民に周知することで、男女共同参画の意識啓発を行った。

実施日	実施場所	内 容
25. 8. 17	ミタス伊勢	啓発用ティッシュ、チラシ等の配布(500個)

(4) れいんぼうフェスタの開催

父親の子育てへの参加促進と親子がふれあう機会を提供するため、れいんぼうフェスタを開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
25. 10. 6	宮川ラブリバー公園	木工品作り、焼きそば作り、宝探し、親子ふれあい遊び など	21組 62人

(5) 伊勢まつりにおける啓発

市民に広く男女共同参画を啓発するため、伊勢まつりに出展し啓発を行った。

開催日	内 容
25. 10. 12～13	パネル展示、チラシ・啓発物品などの配布、クイズ出題 など

(6) 男女共同参画啓発講演会

市民に広く男女共同参画を啓発するため、講演会を開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
25. 11. 10	ミキモトホール伊勢	「おひとりさまの最期」 講師：上野千鶴子さん	人 246

(7) 縁結び応援事業の開催

男女の出会いの場を提供すると共に、家庭生活における男女共同参画推進やお互いを思いやる意識を醸成するため、独身男女を対象にした縁結び応援事業を開催した。

開催日	行き先	内容	参加人数
25. 12. 1	京都市内	バス車内での自己紹介 グループで清水寺他の散策 ホテルでのコースランチ など	42人

(8) 男性向け啓発事業の開催

男性の育児や家事への参加を促進すると共に、男女共同参画を啓発するためパパ（じいじ）と子どものケーキ作り教室を開催した。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
26. 3. 8	いせトピア調理室	パパ（じいじ）と子どもでケーキ作り	20組 44人

3 れいんぼうカフェの開催

だれもが生きやすい社会づくりのため、気軽に立ち寄り、悩みを話したり共有したりできる居場所づくりに取り組んだ。

開催日	開催場所	内 容	参加人数
25. 5. 26	ハートプラザみその 教養娯楽室	市長となんでも話そうよ！	26人
25. 9. 27	いせトピア れいんぼうルーム	子育て世代のしゃべり場	15
25. 11. 21		シニア世代のしゃべり場	6
26. 2. 2		“男もつらいよ” ホッとひと息	9

4 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

	開催日	内 容
第1回	25. 6. 11	委嘱状交付 平成24年度事業実施状況報告 平成25年度の取り組みについて
第2回	26. 2. 20	平成25年度事業実施状況について

5 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、「男女がいきいきと働いている企業」認証制度への登録企業を中心に企業訪問を行った。また、3回シリーズで企業対象研修講座を開催した。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内 容
25. 11. 5～ 26. 2. 3	「男女がいきいきと働いている企業」登録企業 ほか 19社	・市の取り組みの紹介、説明（基本計画概要版） ・企業の男女共同参画の取り組みの聞き取り

(2) 企業対象研修講座

	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	26. 1. 23	いせトピア 研修室	世代をつなぐコミュニケーション 「いま時の若い者VSあの頃の若い者」	人 17
第2回	26. 2. 5		セクハラ・パワハラ防止に向けて 「明るい職場で元気に仕事」	21
第3回	26. 2. 12		ワーク・ライフ・バランスと女性活躍 「経営戦略に活かす視点から」	14

○ 自治会関係

1 区長謝礼事業

市内 173 自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。
(報償費総額 7,270,000 円)

2 振興助成金事業

市内 173 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	振興助成金		
			平等割	世帯割	計
本庁管内	50	19,251	円 2,500,000	円 6,737,850	円 9,237,850
支所管内	71	19,504	3,550,000	6,826,400	10,376,400
二見総合支所管内	10	3,385	500,000	1,184,750	1,684,750
小俣総合支所管内	28	7,578	1,400,000	2,652,300	4,052,300
御菌総合支所管内	14	3,639	700,000	1,273,650	1,973,650
合計	173	53,357	8,650,000	18,674,950	27,324,950

3 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が主体的に取り組む事業に対して、補助した。

補助金の限度額は、対象事業費に対して3分の2を乗じた額か、世帯割に応じて積算された額を比較し、いずれか低い額を限度額として交付した。

(対象事業)

- ①地域に根ざした伝統文化の継承事業 19件
 - ②地域の特性を生かしたイベントなどの地域おこし事業 11件
 - ③地域内の清掃美化等の環境保全事業 94件
 - ④補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業 12件
 - ⑤訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業 18件
 - ⑥少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業 14件
 - ⑦住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業 117件
 - ⑧その他市長が特に必要と認める事業 0件
- ・平成25年度対象自治会 173自治会
- ①交付申請・決定 9,034千円(148自治会)
 - ②交付確定 8,518千円(147自治会)

4 コミュニティ助成事業

(財)自治総合センターが、全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業であり、コミュニティ活動の健全育成を図り、宝くじの社会貢献広報に資するためコミュニティ組織である自治会にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

交付決定自治会 7自治会
 交付決定額 9,800千円

自治会名	補助金額	事業名
円座町自治会	円 2,500,000	文化・学習活動用備品購入 健康管理用器具購入
植山町自治会	1,200,000	祭り用具購入
東本町自治会	1,000,000	文化・学習活動用備品購入
明野第三自治区	1,000,000	祭り用具購入
磯町自治会	1,900,000	放送設備の整備
中須区会	1,100,000	放送設備の整備
小木町	1,100,000	防災用備品の購入
計	9,800,000	

5 自治会コミュニティ放送設備整備補助事業

地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。

交付決定自治会 17 自治会

交付決定額 76,485 千円

自治会名	補助金額	事業名
中島町内会	円 1,970,000	拡声放送設備整備事業
黒瀬町自治会	2,500,000	拡声放送設備整備事業
田尻町会	1,330,000	拡声放送設備整備事業
新出自治区	6,350,000	戸別受信機放送設備整備事業
下小俣自治会	6,739,000	戸別受信機放送設備整備事業
西新村自治会	1,509,000	戸別受信機放送設備整備事業
小俣町湯田自治区	12,858,000	戸別受信機放送設備整備事業
掛橋自治区	5,285,000	戸別受信機放送設備整備事業
松倉自治区	5,078,000	戸別受信機放送設備整備事業
中小俣自治区	5,527,000	戸別受信機放送設備整備事業
今一色区自治会	9,613,000	戸別受信機放送設備整備事業
六軒屋自治会	3,242,000	戸別受信機放送設備整備事業
明野第一・第二自治区	1,116,000	メール配信設備整備事業
北本町自治会	1,556,000	メール配信設備整備事業
明野第四自治区	7,236,000	メール配信設備整備事業
東本町自治会	840,000	メール配信設備整備事業
明野第三自治区	3,736,000	メール配信設備整備事業
合計	76,485,000	

6 伊勢市総連合自治会事務

伊勢市総連合自治会は、各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動しており、その事業活動を支援するため補助金を交付した。(補助金 1,430,000 円)

7 認可地縁団体等関係

地方自治法第 260 条の 2 の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可事務を行った。

平成 25 年度 地縁団体認可団体数 3 団体 (累計認可団体数 74 団体)

○ 地域自治推進関係

1 地域自治推進事業

「ふるさと未来づくり」を推進するにあたって、市役所と地域とのパイプ役として各小学校区に配置した「地区担当職員」が地域で懇談会等を行い、地域自治組織である「地区みらい会議」の設立を進めるとともに、取り組みに対する地域住民の理解促進を図った。

また、地域リーダー養成のための研修会や、市民の自治意識啓発のための講演会を開催した。

(1) 「地区みらい会議」設立状況【19小学校区（18地区）／24小学校区】

名称	小学校区	設立年月日
厚生地区まちづくりの会	厚生	20. 6. 15
小俣まちづくり協議会	小俣・明野	21. 9. 4
沼木まちづくり協議会	上野	22. 4. 16
明倫地区まちづくり協議会	明倫	24. 4. 1
神社地区まちづくり協議会	神社	24. 5. 29
修道まちづくり会	修道	24. 6. 16
佐八学区まちづくりの会	佐八	24. 11. 1
大湊町未来づくり委員会	大湊	24. 11. 22
四郷地区まちづくり協議会	四郷	24. 12. 19
高城まちづくりの会	今一色	25. 2. 17
進修まちづくりの会	進修	25. 2. 24
浜郷地区まちづくり協議会	浜郷	25. 2. 25
中島学区まちづくり協議会	中島	25. 2. 27
城田地区まちづくり協議会	城田	26. 1. 24
豊浜東まちづくり協議会	豊浜東	26. 2. 19
豊西まちづくりの会	豊浜西	26. 2. 20
二見まちづくりの会	二見	26. 3. 1
北浜まちづくり会議	北浜	26. 3. 23

(2) 「地区担当職員」によるまちづくり支援

市と地域とのパイプ役として各小学校区に配置された市職員（地区担当職員）が行政情報の提供及び地区情報の収集を行うとともに、「地区みらい会議」の設立に向けて地域自らのまちづくりを支援した。

また、各地区の取り組み状況の把握と情報交換、相互調整を行うため、各地区の班長で組織した「地区担当者会議」を開催した。

ア 地区担当職員数

部課長級職員 76 人

(内訳：早修、厚生、二見、御菌学区は各 4 人、小俣・明野学区は 6 人、その他学区は各 3 人)

イ 地区担当者会議

開催日 平成 25 年 6 月 10 日 (月)

内 容 ・「ふるさと未来づくり」の今後の進め方について
・各地区の取組み状況の情報交換
・その他

(3) 広報活動

ケーブルテレビで「ふるさと未来づくり」の概要を伝えるとともに、「広報いせ」でもシリーズ「わたしたちの地域だから、わたしたちでやりたいことがある」と題して「ふるさと未来づくり」の概要を伝えた。

(4) 研修会、講演会等の開催

ア 「まちづくり人材養成講座」の開催

「ふるさと未来づくり」を進めるための知識や手法を習得し、地域に根ざした創造性豊かなまちづくりの推進役となる人材を養成するため講座を開催した。

第 1 回 「地域づくり全体を学ぶ (活動中の地区)」

開催日 平成 25 年 9 月 28 日 (土)

開催場所 伊勢商工会議所 5 階 大ホール

講 師 帝塚山大学法学部法学科 中川幾郎 教授

参加者 地区みらい会議関係者 43 人、地区担当職員 31 人

第 2 回 「地域づくり全体を学ぶ (未設立の地区)」

開催日 平成 25 年 9 月 29 日 (日)

開催場所 伊勢市生涯学習センター「いせトピア」 研修室 1・2

講 師 帝塚山大学法学部法学科 中川幾郎 教授

参加者 自治会関係者 52 人、地区担当職員 25 人

イ 「地域主体の新たなまちづくり講演会」の開催

新たな住民自治の仕組みづくりとしての「ふるさと未来づくり」に対する理解を更に深め、市全体の気運の醸成を図るため講演会を開催した。

開催日 平成 25 年 11 月 18 日 (月)

開催場所 ハートプラザみその 多目的ホール

講 演 「コミュニティデザインの時代

～自分たちのまちは自分たちの手でつくる～

講 師 株式会社 studio-L 代表 山崎 亮 氏

参加者 一般市民、地区みらい会議・自治会関係者、各種団体、職員等 合計 180 人

(5) 「地区みらい会議」への財政支援

「地区みらい会議」が実施する事務事業の財源として、設立された「地区みらい会議」に対して、ふるさと未来づくり支援補助金を交付した。

・補助金の内容

補助対象経費	補助金額
事務運営費	2,400,000円
家賃等補助加算額	賃借料相当額（上限600,000円）
活動事業費	1,000,000円

・交付件数：17件

厚生地区まちづくりの会、小俣まちづくり協議会、沼木まちづくり協議会
明倫地区まちづくり協議会、神社地区まちづくり協議会、修道まちづくり会
佐八学区まちづくりの会、大湊町未来づくり委員会、四郷地区まちづくり協議会
高城まちづくりの会、進修まちづくりの会、浜郷地区まちづくり協議会
中島学区まちづくり協議会、城田地区まちづくり協議会、豊浜東まちづくり協議会
豊西まちづくりの会、二見まちづくりの会

(6) 条例策定の取り組み

平成27年度からの全市一斉の制度導入に向け、新たな仕組みとしてふるさと未来づくり制度を構築するための条例案の策定に係る調整会議を設置し、意見聴取等を開始した。

名称 「伊勢市ふるさと未来づくり条例（仮称）策定に係る調整会議」
委員 学識経験者2名、各地区みらい会議から選出された者
開催日 第1回 平成26年1月27日
第2回 平成26年3月20日

2 市民活動補償制度

「ふるさと未来づくり」での活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた事故に対し、傷害事故や賠償責任事故を補償する制度を平成23年度より導入している。

名称 「市民活動補償制度費用保険契約」
保険期間 平成25年6月1日午後4時から平成26年6月1日午後4時まで
契約額 2,321,910円
適用件数 12件（傷害補償12件、賠償責任補償0件）

○ 合併調整関係

1 地域審議会委員交流会

市民の声を施策に反映させることを目的に合併前の4市町村の協議により、各区域を単位に設置している地域審議会委員の学習、交流、意見交換の場として交流会を次のとおり開催した。

開催日 平成25年7月16日（火）

開催場所 御菌総合支所 3階 災害対応室

内 容 ・基調講話

「合併後10年を見据えた伊勢市政の方針（防災、遷宮後の観光・産業）」

伊勢市長 鈴木健一

・行政からの説明

「防災対策の現状について」伊勢市危機管理課

・意見交換会

戸籍住民課

○ 届出係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	53,424 世帯	567 世帯	202 世帯	54,193 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口（平成 26 年 3 月 31 日現在）

区 分		日本人	外国人	合 計
人 口	男	61,845 人	368 人	62,213 人
	女	68,506	570	69,076
	計	130,351	938	131,289

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況

区 分		件 数
届 出	転 入	2,883 件
	転 出	3,472
	転 居	2,284
	世 帯 変 更	1,339
	そ の 他	39
職 権	出 生	938
	死 亡	1,506
	職 権 消 除	8
	修 正	7,139
計		19,608

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口（平成 26 年 3 月 31 日現在）

戸 籍 数	62,196 戸籍
本 籍 人 口	151,554 人

（注） 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	767 件	407 件	1,174 件
婚 姻	558	957	1,515
離 婚	161	127	288
死 亡 ・ 失 踪	1,273	345	1,618
養 子 縁 組	84	60	144
養 子 離 縁	27	8	35
国籍の得喪・留保	6	6	12
本籍表示の変更	254	282	536
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	233	119	352
上記以外で身分に変更が生じるもの	11	12	23
訂 正 ・ 追 完	94	11	105
不 受 理 申 出	14	6	20
そ の 他	1	3	4
計	3,483	2,343	5,826

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新 戸 籍 編 製	876 件
戸 籍 全 部 消 除	992
通 知 違 反	6
そ の 他	0
計	1,874

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	男	女	不 詳	計
出 生	526 件	492 件	0 件	1,018 件
死 亡	743	774	0	1,517
死 産	11	4	4	19
婚 姻				661
離 婚				191
合 計				3,406

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 相続税法による死亡通知件数 1,516 件

(注) 相続税法(昭和25年法律第73号)第58条に基づき税務署へ通知。伊勢市総数

(6) 死産届出受理状況

男	女	不 詳	計
11 件	4 件	4 件	19 件

(注) 伊勢市総数

(7) 埋葬・火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	合 計
埋 葬	0 件	0 件	0 件	0 件
火 葬	1,129	3	12	1,144
計	1,129	3	12	1,144

(8) 民刑事事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	417 件
民事関係通知	24
身元事項照会	2,824
計	3,265

(注) 伊勢市総数

3 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居番号を付定し、それぞれの申請者へ通知した。

住 居	事 務 所	事業所等	計
99 件	1 件	12 件	112 件

○ 証明係

1 住民関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料 (件)	無 料 (件)	計 (件)	収入金額 (円)	
住 民 票 の 写 し	本庁	35,706 (5,785)	4,807	40,513 (5,785)	7,141,200	
	支所	12,215	4	12,219	2,443,000	
広域交付住民票の写し	本庁	48	0	48	9,600	
	支所	4	0	4	800	
戸籍の附票の写し	本庁	2,005	3,726	5,731	401,000	
	支所	399	0	399	79,800	
住民票記載事項証明	本庁	926	36	962	185,200	
	支所	339	9	348	67,800	
住民基本台帳カード	本庁	419	41	460	209,500	
	支所	0	0	0	0	
住民基本台帳閲覧	本庁	43	0	43	8,600	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	22,611 (8,954)	57	22,668 (8,954)	4,522,200	
	支所	10,126	75	10,201	2,025,200	
諸証明	身分証明	本庁	724	1	725	144,800
		支所	161	0	161	32,200
	その他	本庁	301	67	368	60,200
		支所	21	4	25	4,200
合 計	本庁	62,783 (14,739)	8,735	71,518 (14,739)	12,682,300	
	支所	23,265	92	23,357	4,653,000	
	計	86,048 (14,739)	8,827	94,875 (14,739)	17,335,300	

(注1) () は自動交付機による内数

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件

(2) 住民基本台帳の閲覧団体数 22 団体

(3) 住民基本台帳事務における支援措置者数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による住民票発行抑止及び戸籍の附票発行抑止を行った。

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	32 名	46 名	78 名
他市からの支援要請	21	28	49
計	53	74	127

(4) 印鑑登録数（平成 26 年 3 月 31 日現在） 87,969 件(伊勢市総数)

(5) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分	件 数	
増	登 録	4,754 件
	そ の 他	0
	計	4,754
減	廃 止	375
	亡 失	1,594
	死 亡	1,317
	転 出	1,227
	そ の 他	275
	計	4,788

(6) 電子証明書の状況

有 料	無 料	計	金 額
290 件	6 件	296 件	145,000 円

2 戸籍関係

(1) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収入金額（円）
			有 料（件）	無 料（件）	計（件）	
戸 籍	全部事項 (謄 本)	本庁	10,620	3,217	13,837	4,779,000
		支所	2,636	0	2,636	1,186,200
	個人事項 (抄 本)	本庁	3,204	323	3,527	1,441,800
		支所	1,285	0	1,285	578,250
	一部事項	本庁	4	0	4	1,400
		支所	0	1	1	0

戸籍	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	2	0	2	700
	計	本庁	13,828	3,540	17,368	6,222,200
		支所	3,923	1	3,924	1,765,150
		計	17,751	3,541	21,292	7,987,350
除籍 改製原戸籍	全部事項 (謄本)	本庁	9,626	4,469	14,095	7,219,500
		支所	2,069	0	2,069	1,551,750
	個人事項 (抄本)	本庁	62	73	135	46,500
		支所	14	0	14	10,500
	一部事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	記載事項	本庁	0	0	0	0
		支所	0	0	0	0
	計	本庁	9,688	4,542	14,230	7,266,000
		支所	2,083	0	2,083	1,562,250
		計	11,771	4,542	16,313	8,828,250
	受理証明等	本庁	181 (7)	1	182 (7)	70,700 (9,800)
		支所	4 (0)	0	4 (0)	1,400 (0)
届書記載事項証明	本庁	80	0	80	28,000	
	支所	15	0	15	5,250	
閲覧	本庁	0	0	0	0	
	支所	0	0	0	0	
合計	本庁	23,777 (7)	8,083	31,860 (7)	13,586,900 (9,800)	
	支所	6,025 (0)	1	6,026 (0)	3,334,050 (0)	
	計	29,802 (7)	8,084	37,886 (7)	16,920,950 (9,800)	

(注) () は、特別受理証明書(上質紙使用)の内数

3 特別永住者関係

(1) 特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件数 (件)	異 動 事 由	件数 (件)
許 可	0	再 交 付 (交 換 希 望)	0
証 交 付 (法 施 行 前 未 取 得)	0	再 交 付 (紛 失)	0
証 交 付 (切 替)	6	有 効 期 間 更 新	0
再 交 付 (汚 損 等)	0	記 載 事 項 変 更	0

4 郵送請求処理件数

区 分	有料 (件)	無料 (件)	返 戻 (件)	取扱件数 (件)
戸 籍 関 係 証 明	(7,722)	(4,886)	260 (諸証明関係含む)	12,868
住 民 票 関 係 証 明	(4,811)	(4,644)	516	9,971
諸証明関係(身分証明等)	(345)	(9)		354
計	(12,878)	(9,539)	776	23,193

(注) () は「1 住民関係」及び「2 戸籍関係」の内数

5 自衛官募集事務

自衛隊三重地方連絡部伊勢募集事務所長から依頼を受け、懸垂幕掲示、広報いせ、文字放送を通じての広報など、新規隊員募集の事務補助を行った。

なお、市内から13名（陸上自衛隊11名、航空自衛隊1名、海上自衛隊1名）の入隊者があった。

○ 支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区 分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸 籍	(967) 543,650	(530) 305,000	(816) 447,400	(448) 235,000	(811) 450,700
住民基本台帳 関 係	(1,765) 353,000	(1,040) 208,000	(2,273) 454,400	(1,192) 238,000	(1,635) 326,600
印 鑑 証 明	(1,258) 251,000	(869) 171,800	(1,542) 305,800	(972) 193,800	(1,433) 281,200
諸 証 明	(21) 4,200	(18) 3,600	(31) 5,400	(10) 2,000	(18) 3,600
計	(4,011) 1,151,850	(2,457) 688,400	(4,662) 1,213,000	(2,622) 668,800	(3,897) 1,062,100

区 分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	合 計
戸 籍	(880) 481,200	(794) 440,000	(585) 326,350	(195) 104,750	(6,026) 3,334,050
住民基本台帳 関 係	(1,761) 351,400	(1,691) 337,800	(1,121) 223,800	(492) 98,400	(12,970) 2,591,400
印 鑑 証 明	(1,463) 292,600	(1,214) 242,200	(960) 190,000	(490) 96,800	(10,201) 2,025,200
諸 証 明	(38) 7,600	(21) 4,200	(20) 4,000	(9) 1,800	(186) 36,400
計	(4,142) 1,132,800	(3,720) 1,024,200	(2,686) 744,150	(1,186) 301,750	(29,383) 7,987,050

(注1) 証明係関係「住民票関係の交付等の状況」及び「戸籍謄抄本交付等の状況」の内数

(注2) 上段は件数、下段は金額(円)

(2) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源拠点ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

○ システム更新業務関係

1 戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム改修委託業務

大規模かつ広域の災害等による戸籍情報の喪失を防止することを目的に全国2箇所に設置される戸籍副本データ管理センター（伊勢市は北海道圏内）へ、法務省が伊勢市に設置する「市区町村専用装置」を通じて戸籍副本データを送信することとしている。戸籍副本データを送信するために「市区町村専用装置」へ戸籍副本データを格納する機能を戸籍情報システムへ備えるためシステム改修を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
本庁舎	戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム改修業務委託	戸籍副本データを格納する機能を戸籍情報システムへ備えるためのシステム構築	円 2,611,350	25. 7. 4	25.10.31

2 住基ネットワークシステム機器更新業務

現行の住民基本台帳ネットワークシステムは、平成20年4月に設置し、指定情報処理機関で定めた標準更改期間（6年周期）を終了することから、今後の法改正に対応する新システム導入と機器の更新を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
本庁舎、各総合支所	伊勢市住民基本台帳ネットワークシステム更新業務委託	住民基本台帳ネットワークシステムの保守終了に伴う機器等更新業務委託	円 8,925,000	25.10.16	26. 2.28

3 外国人住民への住民票コード付番業務委託

住基法改正に伴い、平成25年7月8日より外国人住民についても住基ネットワークシステムが運用された。その運用をしていく上で、対応できるシステムの導入を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完工
伊勢市役所 戸籍住民課	住基法改正（外国人住民への住民票コード付番等）適用日対応業務委託	法改正に伴い外国人住民へ住民票コードを付番するための業務	円 499,800	25. 6.26	25. 7.12

4 住民票への住所方書記載対応業務委託

アパート等の集合住宅増加により、住所の正確な把握が難しくなっている状況を踏まえ、平成 26 年 1 月 14 日より住民票の住所欄に方書（アパート名・部屋番号）記載を行うためのシステム変更を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市役所 戸籍住民課	住民票への住所方 書記載対応業務委 託	住民票の住所欄に方 書を追加するための 総合住民情報システ ム等設定変更業務	円 453,915	25.10.16	26.1.31

5 伊勢市住民票等自動交付機システム改修業務委託

平成 26 年 1 月 14 日より住民票に方書（アパート名・部屋番号）記載を行うことに連携し、自動交付機にも対応できるようにシステムの改修を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市役所 戸籍住民課	伊勢市住民票等自 動交付機システム 改修業務委託	住民票の住所欄に方 書を追加するための 自動交付機システム 改修業務	円 1,050,000	25.10.16	26.1.31

人 権 政 策 課

○ 人権施策推進事業

1 伊勢市人権施策推進協議会

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
25. 5. 9	幹事会	総会への提出議案等協議 (人権尊重啓発ポスター・標語募集要領、人権セミナー、総会時講演会等) 場 所 市役所本館2-1会議室	
6. 4	総会	平成24年度事業報告・決算報告、 平成25年度事業計画(案)・予算(案)の承認 総会后講演会 演 題 「子どもの権利」 講 師 秋山 則子 さん (NPO法人三重子どもネットワーク 理事長) 場 所 いせシティプラザ2階多目的ホール	
8. 6	第1回 人権セミナー	演 題 「男女共同参画社会と男性の生きづらさ」 講 師 柏木 はるみ さん (三重県男女共同参画センター フレンテみえ所長) 場 所 ハートプラザみその 保健会議室	参加者35名
8. 1 ~12. 15	人権尊重啓発 ポスター 標語募集事業	ポスター募集事業： 市内小中学校児童生徒から362点の応募 10月11日、28日ポスター審査 (市長賞9点、会長賞44点、奨励賞44点選出) 標語募集事業： 市内に在住または通勤通学する15歳以上の方 (中学生を除く)から8点の応募 10月18日委員会において標語審査 (市長賞1点、会長賞2点選出) 11月29日~12月 5日まで 小俣図書館にて展示 12月 6日~12月12日まで ララパークにて展示 12月13日~12月15日まで いせトピアにて展示 12月15日 いせトピアにおいて表彰	広報いせ7. 15号 にて公募
10. 18	委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業、 人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場 所 市役所本館4-5会議室	

11.13	第2回 人権セミナー	演 題 「DVの理解について」 講 師 迫間 多美代 さん (伊勢市子ども家庭相談センター 女性相談員) 場 所 御蔭公民館 講堂	参加者26名
11.11 ~11.25	人権啓発パネル 展	11月11日~11月18日まで市役所本館 市民ホール・二見総合支所にて開催 11月19日~11月25日まで小俣総合支所・ 御蔭総合支所にて開催	
11.11 ~12.10	人権強調月間	市役所本庁舎・小俣総合支所に懸垂幕の掲示 市役所本庁舎・各総合支所にのぼり旗の掲示	
11.11 ~12.9	人権週間催し 告知等	広報いせ、伊勢市ホームページへの掲載 iTV文字放送、行政チャンネル放送にて 催しの告知	
12.4	街頭啓発	12月4日~10日までの人権週間にあわせ、市民の 人権尊重の意識高揚を目的に、伊勢市人権施策推 進協議会委員による啓発冊子・物品の配布による 啓発活動を実施 場 所 ぎゅーとら (SCハイジー・小俣店)、 イオン伊勢店、 イオンタウン伊勢ララパーク、 みそのショッピングセンター、 バローミタス伊勢店、 ホームセンターバロー伊勢店、 プライスカット伊勢二見店	参加者38名 配布数1,020個
12.15	人権講演会	演 題 「子どもの心をのぞいてみれば」 講 師 香山 リカ さん (精神科医・立教大学現代心理学部教授) 場 所 いせトピア 多目的ホール	参加者350名
26. 1.21	第3回 人権セミナー	演 題 「働く場での男女共同参画」 講 師 浜田 吉司 さん (株式会社マスヤ 代表取締役社長) 場 所 ハートプラザみその 保健会議室	参加者26名
2.18	第4回 人権セミナー	演 題 「防災分野での男女共同参画」 講 師 善積 智子 さん (オフィス・アリエール 代表) 場 所 御蔭公民館 講堂	参加者24名
3.20	幹事会	委員会への提出案件協議 平成25年度事業(見込)及び決算(見込)報告 平成26年度事業計画(案)及び予算(案) 場 所 御蔭総合支所2-3会議室	

3. 25	委員会	平成25年度事業（見込）及び決算（見込）報告 平成26年度事業計画（案）及び予算（案） 場 所 市役所本館4-5会議室	
随 時	企業啓発	【実施企業】 横浜ゴム㈱三重工場、 イオンタウン伊勢ララパーク、イオン伊勢店、 ぎゅーとら（本社、ハイジー店、小俣店）、 みそのショッピングセンター、 バローミタス伊勢店、 ホームセンターバロー伊勢店、 プライスカット伊勢二見店	
随 時	人権啓発冊子 発行	人権ハンドブック No.15 「高齢者の人権」	1,000部作成
随 時	啓発用物品	啓発用ポケットティッシュ	5,000個作成
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	1,000袋作成

○ 人権啓発推進事業

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 各種広報、啓発事業

広 報 啓 発 事 業	内 容	備 考
広報いせ人権シリーズ掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権問題をテーマに取り上げ、市民の方々に人権について考えていただく機会とした。	毎号掲載
地域人権啓発紙の編集	市民館、教育集会所等が作成する地域人権啓発紙への記事提供及び編集。広報いせ人権シリーズ同様、様々な人権問題をテーマに取り上げたり施設の活動状況を報告したりして、地域の方々に人権について考えていただく機会とした。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間啓発パンフレットの作成及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用油性ボールペンと合わせて、街頭啓発、関係機関窓口、講演会等で配布した。	パンフレット 2,800枚 油性ボールペン 3,500本
人権啓発パンフレット等の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、人権問題13項目を簡潔にまとめた啓発用パンフレットを作成した。	パンフレット 3,200枚

人権を考える市民の集い	元「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」副代表の蓮池透さんを講師に向かえ、北朝鮮による人権侵害について講演会を開催した。	いせトピア 多目的ホール 参加者 500名
人権リーフレットの作成	「人権を考える市民の集い」、「人権講演会」の内容に沿った人権をテーマにしたリーフレットvol. 17、18を発行した。	リーフレット 各 1,300部
人権パネルの作成と差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	人権パネルを作成し、市役所本館1階市民ホール及び各総合支所にて人権パネル展を開催。本庁及び小俣総合支所において懸垂幕を掲出。市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	人権パネル2部 作成

2 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行っている。

○ 隣保館運営事業

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣 保 館 運 営 事 業 費	31,062,999 円	30,170,599 円	22,627,000 円	8,435,999 円

2 事業内容

館 別 事業区分		朝熊市民館		大久保市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人 権 相 談	件 0	人 0	件 0	人 0	件 0	人 0	件 0	人 0
	職 業 相 談	3	3	2	2	0	0	5	5
	教 育 相 談	0	0	1	1	0	0	1	1
	福 祉 相 談	5	5	6	6	1	1	12	12

相談事業	生活相談	7	8	5	5	8	8	20	21
	健康相談	1	1	0	0	0	0	1	1
	その他相談	3	3	1	1	0	0	4	4
講座	福祉介護講座	5	65	—	—	4	76	9	141
	成人学習講座	6	133	—	—	4	105	10	238

○ 非核平和推進関係

1 非核・平和第35回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、平成25年8月17日・18日に、ハートプラザみそのにおいて、非核・平和第35回空襲展実行委員会の一員として、空襲展を開催した。

当課の企画として、原爆と人間パネル展と折り鶴コーナーを企画し実施した。

主な催し物・・・映画上映、平和紙芝居、すいとん汁試食コーナーなど

主な展示物・・・伊勢空襲の記録・写真、焼夷弾、戦時中の生活用品など

2 原爆被災ポスター展

非核・平和第35回空襲展を前に、原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月22日から8月2日まで市役所本館1階市民ホールと二見総合支所で、8月2日から8月12日まで小俣総合支所と御園総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

学校教育課を通じて市内各市立中学校の生徒代表による広島平和記念式典への参加にあたって、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。（12校×1,200枚）

また、原爆被災ポスター展、非核・平和第35回空襲展の折り鶴コーナーでも活用してもらった。

4 日本非核宣言自治体協議会

非人道的核兵器の使用は人類と地球の破滅につながる恐れがあり、住民の生命と生活を守ることは自治体の責務であるとの考えから、全国・全世界に核兵器廃絶、恒久平和を呼びかけるほか、平和の尊さを訴えている日本非核宣言自治体協議会の趣旨に賛同し加盟している。協議会は、核実験を行う諸国への抗議行動や地雷廃絶キャンペーン等を行っているが、当課としても協調し啓発活動を行った。

（非核宣言自治体総数1,789自治体、うち協議会会員自治体数289自治体：平成25年4月現在）

○ 人権学習関係

市民が人権尊重の精神をもとに人権問題を正しく認識し、自らの課題としてその解決に向えるよう広報啓発活動の積極的な推進に努めた。

1 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会の組織化

小学校区を単位として、人権教育推進のための協議会を組織し、自主的な啓発活動を進めている。

市内 22 の協議会は各町の自治会長（区長）、民生委員、人権擁護委員、小学校長などが委員となり、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。

2 第 8 回伊勢市人権を考える市民の集い

人権問題の正しい理解と認識を広めるため、平成 25 年 7 月 30 日、蓮池透さん（元「北朝鮮による拉致被害者家族連絡会」副代表）を講師に招き、いせトピアで開催し、500 人の参加を得た。北朝鮮による拉致被害者問題をテーマにしたリーフレット vol.17 を発行した。

3 伊勢市人権講演会

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、平成 25 年 12 月 15 日、香山リカさん（精神科医・立教大学現代心理学部教授）を招き、いせトピアで開催し、350 人の参加を得た。

子どもの人権をテーマにしたリーフレット vol.18 を発行した。

4 人権啓発講座

市内の小中学校の保護者及び一般若年～壮年層（50歳未満）を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身に付けた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として 4 回の講座を開催した。

4 回で延べ 121 人の参加があった。各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場所	テーマ	講師	参加人数
第 1 回	25. 11. 23	いせトピア	子どもの人権	園田 雅春 さん	34 人
第 2 回	25. 12. 4	いせトピア	同和問題	伊藤 訓之 さん	31
第 3 回	26. 1. 19	いせトピア	インターネットと人権	松村 元樹 さん	28
第 4 回	26. 2. 23	いせトピア	障がいのある人の人権	杉田 宏 さん	28

環 境 課

○ 環境全般

1 伊勢市環境基本計画

環境に関わる各計画の最上位計画にあたる「伊勢市環境基本計画」について、現計画の計画期間が平成 26 年度までであるため、平成 27 年度を初年度とする次期計画の策定について、伊勢市環境審議会に諮問（平成 25 年 11 月 25 日）、審議を開始した。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第 11 条の規定に基づき設置

構 成：公共的団体等に所属する者でその団体の推薦を得た者 9 人

学識経験を有する者 4 人

その他市長が必要と認める者 4 人

会 長：朴恵淑（三重大学理事・副学長）

副会長：深草正博（皇學館大学教育学部長）

2 環境管理システムの推進

平成 20 年度から I S O 14001 の規格によらない環境管理システムを運用している。全庁的に取り組む施策と、本庁・各総合支所にて取り組む事務活動に大別し、事務活動については、事務用紙使用量、可燃ごみ排出量、電力使用量、公用車燃料使用量の削減に取り組み、グループウェア掲示板において取り組み実績を周知し、意識啓発に努めた。

可燃ごみ排出量、公用車燃料使用量（ガソリン）については、年度当初の目標を達成したが、事務用紙使用量、電力使用量、公用車燃料使用量（軽油）については、達成できなかった。

特に夏季の節電については、昨年度に引き続きクールビズを前後 1 か月間延長するなど重点的に取り組んだ。

3 環境啓発・環境教育の推進

（1）環境フェア開催事業

生活排水対策やごみ減量化対策等を市民に周知し、また、いろいろな体験を通して市民の環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得るため、平成 25 年 10 月 13 日（日）に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ及び屋外駐車場）において、伊勢市環境会議と市の協働で環境フェアを開催した。今年度はフリーマーケットや皇學館大学生による実験ブースなど、市民に主体的に参加していただいた。また、屋外駐車場では電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会に参画する事業者にご協力いただき、電気自動車及びプラグイン・ハイブリッドの展示・試乗会を行い、市民に関心を持っていただくきっかけづくりをした。

なお、2013 福祉フェスティバル事業実行委員会主催の「2013 福祉フェスティバル 勤労者ゆとり T・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g 」と同時開催。

（2）伊勢市環境会議

平成 25 年 3 月 31 日に解散した伊勢市まちづくり市民会議の後継組織として伊勢市環境会議を平成 25 年 4 月 22 日に設立し、市民との協働により、環境保全の取組を行った。

平成 25 年度実施事業

実施日	実施事業名	概要	備考
25. 7. 7	勢田川七夕大そうじ	勢田川の浄化と、河川美化の意識啓発のため、勢田川清掃を実施した。	参加者 約 2,500 人
25. 7. 8 26. 3. 17	勢田川浄化実験事業	勢田川の浄化を目的に、微生物資材をヘドロに投入し、ヘドロ浄化効果を経過観察した。 また、啓発用に看板を設置した。	参加者 25. 7. 8 99 人 26. 3. 17 100 人
25. 7. 20	お白石持行事奉祝ごみゼロ早朝清掃	20 年に 1 度の式年遷宮に向けて、白石持行事の奉曳区域を中心にお越しいただく方へのおもてなしのため、清掃活動を実施した。	参加者 約 500 人
25. 7. 31	水生生物による水質調査	水環境に親しむきっかけづくり及び水質浄化意識の啓発のため、小学校児童らと水生生物の生息状況により、水質を調べた。	市内小学校児童 参加人数 19 人
25. 10. 13	環境フェア	三重県営サンアリーナにて、環境意識の啓発のため、イベントを開催し、体験ブース等を出展した。	来場者約 20,000 人
25. 10. 13	ごみゼロポスターコンクール表彰式	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3Rの推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行い、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	応募総数 932 作品 受賞者 計 66 人
25. 12. 1	みえ環境フェア	メッセウイング・みえにおいて、三重県地球温暖化防止活動推進センターの主催により開催され、環境意識の啓発のため、アクリルたわしづくりの体験ブースと活動写真展示の出展をした。	来場者約 3,000 人
26. 2. 3 26. 2. 4 26. 2. 27	環境出前講座	環境意識の啓発のため、伊勢市環境会議会員が講師となり、小学校へ出向いて講義等をする環境出前講座を実施した。 (テーマ) アクリルたわしづくり、生ごみの水切り	受講者 明野小学校 6 年生 3 クラス 計 98 人
26. 2. 18 26. 2. 25	エコクッキング教室	東邦ガス株式会社にご協力いただき、生ごみを出さない、または、汚れた生活排水を流さない調理方法について実習した。	参加者 26. 2. 18 19 人 26. 2. 25 24 人

(3) 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性

化と人材の育成を図ることを目的に、平成 20 年 7 月 11 日に連携協定を締結している。

環境分野における連携については、協定におけるスターティングプロジェクトとして「環境ミーティング」を実施したところであるが、平成 25 年度については、学生に意見のみをいただくのではなく、実際に市の環境イベントへ主体的に参加いただき、学生に対する環境啓発と実際の経験を踏まえた若い意見の収集を目的とし、平成 25 年 10 月 13 日（日）に伊勢市主催事業である「環境フェア」に「昆虫」をテーマにしたブースを出展していただいた。また、平成 25 年 11 月 1 日（金）に今年度の連携と平成 26 年度以降の連携についての意見交換会を行った。

○ 地球温暖化防止対策の推進

1 太陽光発電普及促進事業

平成 23 年度までは住宅用のみ補助を行ってきたが、再生可能エネルギー導入に対する市民意識の高まり、また、平成 24 年 7 月からの新しい電力買取制度の導入を受け、平成 24 年度より、補助の対象を事業所等へも広げており、平成 25 年度も引き続き太陽光発電システムの普及促進を行った。

なお、平成 25 年度分として 285 件の申請を受け付けたが、年度内に完了しなかった 41 件については、繰越し対応とした。

	補助金額	交付件数	交付額
平成 24 年度からの繰越分	円/件 60,000	件 60	円 3,600,000
平成 25 年度事業	60,000	244	14,640,000
計		304	18,240,000

	補助金額	交付件数	繰越額
平成 26 年度への繰越分	円/件 60,000	件 41	円 2,460,000

2 エコドライブ講習会の実施

地球温暖化対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、そのためには、クリーンエネルギー自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策も重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図るため、J A F と連携し講習会を開催した。

職員対象・・・平成 25 年 6 月 13 日（木）	15 人
平成 25 年 11 月 20 日（水）	15 人
市民対象・・・平成 25 年 10 月 16 日（水）	6 人
平成 25 年 12 月 10 日（火）	12 人

3 エネルギー教育

(1) 事業者におけるエネルギー教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、

ノウハウが蓄積されていることから、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、平成 23 年 9 月 30 日、京セラ株式会社三重伊勢工場及び中部電力株式会社と環境教育に関する協定書を締結しており、今年度においては市内の小中学校向けに環境出前講座を実施していただくなど、ご協力をいただいた。また、平成 26 年度も引き続き協定の延長をすることを確認した。

【平成 25 年度授業実績】

- ・京セラ株式会社三重伊勢工場（7 校、481 人）（リサイクルプラザ、20 人）
- ・中部電力株式会社（2 校、101 人）

（2）エネルギー教育促進事業

市内の小中学校のエネルギー環境学習・活動を促進するため、エネルギー教育に要する経費を上限 2 万円で支援を行った。グリーンカーテンの設置や、出前講座の実施など、全 36 校において実施された。

4 電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会の取り組み

多くの化石燃料に依存した暮らしから、省エネルギーでかつ豊かな低炭素社会での暮らしに移行していくため、電気自動車等を活用した移動手段の新たな使い方を検討し、取組を進めることで「低炭素で豊かに暮らせる伊勢」を創造することを目的として、三重県が取り組む「地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業」の採択を受け、平成 24 年 8 月に、三重県と共同で「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」（以下「協議会」という。）を設立した。

本協議会は、行政、事業者、市民等の様々な参画者が将来像や目標を共有しながら、参画者自らが主体となり、市民だけでなく、伊勢市を訪れる人にとっても便利に移動できる低炭素社会の実現に向けて取り組むこととしている。

平成 24 年度に策定した行動計画「おかげさま A c t i o n !」に基づき、啓発活動等に取り組んだ。

（1）NTN（超小型モビリティ）の導入

協議会参画者の NTN 株式会社より国土交通省の認定を受けて伊勢市や津市等を運行エリアとして走行できる 2 人乗りの電気自動車 5 台を伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢市観光協会ほか市内の協議会参画者に無償貸与していただいた。

当該車両は、市の公用車や協議会参画者の業務用車両として活用しており、また、観光モデルコースを作成し観光客の利用等を検討している。

（2）コムスの導入

「ええやんか！マイバック（レジ袋有料化）検討会」からレジ袋有料化による収益金の一部を協議会へ寄付いただき、コムス 4 台を導入した。なお、平成 25 年 10 月 31 日に贈呈式を催した。

導入したコムスは、多くの市民、観光客に見ていただけるよう、伊勢市観光協会が伊勢市駅前手荷物預かり所において活用しており、また、市内観光への活用等を検討している。

(3) 電気バスの導入

交通分野における温室効果ガス削減の啓発及び「おかげさまAction!」の各種取組みを促進するため、三重交通株式会社による行動計画に基づく電気バス1台の導入に対し補助金を交付した。

電気バスには、注目度・啓発効果の向上を目的に、株式会社ポケモンの協力を得て「ポケットモンスター（ポケモン）」で人気の「ピカチュウ」（でんきタイプのポケモン）のラッピングを施した。

【導入概要】

- ・補助率：国（1/2）、県（1/8）、市（1/8）
- ・出発式及び試乗会：平成26年3月30日
- ・通常運行開始：平成26年3月31日
- ・運行路線：外宮内宮線
- ・運行回数：4往復/日

(4) シンボルマーク・ピクトグラムの作成

「おかげさまAction!」を広く周知するために「おかげさまAction!」の活動をあらわすシンボルマークと、自動車用の充電施設をわかりやすく示すピクトグラム（絵文字）のデザインを公募し、平成25年10月13日の環境フェアにて、シンボルマークとピクトグラムのお披露目と作成者の表彰式を行った。

また、シンボルマーク及びピクトグラムのデザイン活用の普及啓発を行うため、デザインマニュアルを作成した。

(5) EV・PHV用充電器設置ガイドブックの作成

EV（電気自動車）、PHV（プラグイン・ハイブリッド）を使用する方が安心して走行できる充電環境を整備するため、観光施設、商業施設及び駐車場等に充電器を設置しようとする方を対象としたガイドブックを作成した。

(6) 啓発活動

市内等で開催されるイベントにて、電気自動車等の展示（給電デモ等）、試乗を行い、電気自動車等の普及啓発を行った。

実施日	事業名	概要	備考
25.10.13	環境フェア	電気自動車等の展示、試乗	来場者約 20,000 人
25.11.2	商店街活性化事業	外宮参道・高柳商店街で明野高校と連携した電気自動車の給電デモ	
25.11.9 25.11.10	伊勢楽市	電気自動車の展示	来場者 25.11.9 約 50,000 人 25.11.10 約 30,000 人
25.12.1	みえ環境フェア	電気自動車の展示	来場者約 3,000 人

25. 12. 7 25. 12. 8	お伊勢さんマラソン	電気自動車の展示、先導車・総務車としての使用	参加者 10,587 人
25. 12. 19	電気自動車等の充電器説明会 in 伊勢	補助金交付団体・充電器メーカーの方をお招きし、補助金制度や充電器の説明会を実施	参加者 37 人
26. 2. 16	市町対抗駅伝	電気自動車の展示、テレビ撮影車としての使用	
26. 2. 16	浜郷地区防災訓練	電気自動車の給電デモ	参加者約 300 人
26. 3. 1	三重県観光キャンペーン特別イベント（くまモンが伊勢にやってくるモン）	電気自動車の展示	

○ 生活排水対策の推進

1 合併処理浄化槽設置の促進

（1）浄化槽設置整備事業補助金

生活排水対策を目的として合併処理浄化槽設置者に対し補助を行った。下水道認可区域外においては、合併処理浄化槽設置を一層促進するため、平成 25 年度から、配管費用、単独処理浄化槽の撤去費用の補助を必要に応じて上乘せしている。下水道事業認可区域内においては、市単独補助を行っている。

【下水道認可区域外】

浄化槽設置（新築及び単独浄化槽・くみ取りからの転換）補助の人槽別内訳

区分	新築			単独処理浄化槽・くみ取りからの転換			合計	
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	交付 基数	交付 額計
5	千円/件 250	基 173	千円 43,250	千円/件 332	基 61	千円 20,252	基 234	千円 63,502
7	310	107	33,170	414	79	32,706	186	65,876
10-50	412	6	2,472	548	9	4,932	15	7,404
合計	-	286	78,892	-	149	57,890	435	136,782

単独処理浄化槽・くみ取りからの転換（149 基）のうち、配管、単独処理浄化槽撤去費用補助の内訳

区分	単独浄化槽・くみ取りからの転換		
補助区分	補助金限度額	交付基数	交付額計
配管	千円/件 60	件 149	千円 8,940
単独処理浄化槽の撤去	90	86	7,740
合計	-	-	16,680

※単独処理浄化槽の撤去 86 件は配管と併せて補助

【下水道認可区域内】

浄化槽設置補助の人槽別内訳

区分	新築及び単独浄化槽・くみ取りからの転換		
人槽	補助金限度額	交付基数	交付額計
5	千円/件 110	基 19	千円 2,090
7	138	10	1,380
10	182	2	364
合計	-	31	3,834

※下水道認可区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外

(2) 共同汚水処理施設修繕工事補助金

共同汚水処理施設の適正な維持管理を図るため、修繕工事を実施した団体に対し、補助を行った。

平成25年度 補助件数：3件 補助金額：2,939,300円

○ 公害対策事業

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の実態を把握するため、三重県環境生活部により厚生中学校に設置（昭和63年3月から測定開始）されている大気汚染常時監視測定局で二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等の常時自動測定調査を行っている調査結果を、伊勢市のホームページにて周知を行った。

2 水質調査

河川や海域の水質汚濁状態を把握するため、水質調査を実施した。

(1) 平成25年度調査実施状況

区分	河川水質	海域水質	幹線排水路水質
地点	30	7	5
項目	19	7	19
回数	2～12	4	1～4

※河川水質は12河川、幹線排水路水質は4幹線を対象とした。

(2) 河川BOD経年変化

年 度	20	21	22	23	24	25	環境基準
宇治橋（五十鈴川）	mg/l 0.7	mg/l 0.5	mg/l 0.5	mg/l ▲1.6	mg/l 0.9	mg/l ▲1.6	1 mg/l 以下
堀割橋（五十鈴川）	0.8	0.8	0.6	1.7	1.3	1.6	2 mg/l 以下
勢田大橋（勢田川）	4.1	2.9	3.1	3.6	5.0	▲6.8	5 mg/l 以下

度会橋（宮川）	mg/ℓ 0.6	mg/ℓ 0.5	mg/ℓ 0.7	mg/ℓ 0.5	mg/ℓ ▲1.1	mg/ℓ ▲1.6	1 mg/ℓ 以下
大野橋（外城田川）	1.6	1.4	2.0	2.2	2.1	2.6	3 mg/ℓ 以下
豊浜橋（外城田川）	1.6	1.4	1.4	2.7	3.1	1.8	5 mg/ℓ 以下
有滝橋（江川）	0.8	0.6	0.6	1.9	1.7	1.2	—
大堀川橋（大堀川）	1.6	1.3	1.2	2.1	1.8	2.2	—
野垣外橋（汁谷川）	1.1	1.1	1.4	1.7	1.9	1.3	—
鮫川（上流）	—	—	21.2	13.0	29.0	7.8	—
鮫川（下流）	—	—	21.4	4.8	10.0	4.0	—

（注）▲は、環境基準オーバーを表す。数値は75%値。

（3）海域COD経年変化

年 度	20	21	22	23	24	25	環境基準
東 大 淀 沖	mg/ℓ 1.1	mg/ℓ 1.2	mg/ℓ 1.9	mg/ℓ 0.7	mg/ℓ 0.6	mg/ℓ 0.5	2 mg/ℓ 以下
村 松 沖	1.2	1.3	1.6	0.7	0.6	0.6	3 mg/ℓ 以下
豊 北 漁 港	1.1	1.4	1.7	0.5 未満	0.6	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下
大 湊 沖	1.1	1.6	1.3	0.5 未満	0.6	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下
宇 治 山 田 港	0.7	1.1	1.6	0.5 未満	0.6	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下
宇 治 山 田 港 沖	1.0	1.0	1.8	0.5 未満	0.7	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下
笹 笛 川 地 先	1.4	1.5	1.6	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	3 mg/ℓ 以下

（注）数値は75%値

3 騒音・振動調査

（1）環境騒音・道路交通振動調査

伊勢市内における騒音及び振動の現状を把握し、環境の保全を図るため、環境騒音・道路交通振動の測定を実施した。

【平成25年度調査実施状況】

区分	一般環境騒音	道路交通騒音	道路交通振動
地点数	3	4	1
基準適合地点	3/3	3/4	1/1

（2）自動車騒音常時監視に係る騒音調査及び面的評価業務

騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、伊勢市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音の状況の常時監視を実施した。

環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況の把握を行い、今後の総合的な道路環境の各種施策へ反映を図る資料とする。

【平成 25 年度騒音調査結果】

路線名	測定地点	時間区分	等価騒音レベル (d B)	環境基準 (d B)
伊勢多気線	上地町	昼間	67	70
		夜間	60	65
伊勢南島線	大倉町	昼間	67	70
		夜間	59	65
伊勢南島線	岩渕 3 丁目	昼間	65	70
		夜間	58	65
伊勢南島線	神田久志本町	昼間	69	70
		夜間	59	65

4 悪臭

市内特定地点における悪臭の現状を把握し、公害防止を図るため臭気測定を実施した。

平成 25 年度は 1 か所 4 地点を各 2 回測定した。臭気指数はすべて 10 未満であり、参考基準値の臭気指数 15 を下回った結果になった。

5 公害苦情等処理状況

典型 7 公害の苦情処理件数は、大気汚染 16 件、水質汚濁 9 件、騒音 10 件、悪臭 9 件、合計 44 件であった。

その他の苦情処理件数は、草刈り 75 件、樹木剪定 32 件、動物（犬猫等） 30 件、空き家 18 件、その他 4 件、合計 159 件であった。

6 公害関係法令に基づく各種届出受理業務

生活環境を保全し、市民生活の健康保護のため、公害関係法令に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また特定建設作業に対する各種届出受理業務を行った。

【特定施設に関する設置等の届出】

区分		設置届出数	廃止届出数
大気汚染防止法		4 件	3 件
水質汚濁防止法		10	9
騒音規制法		2	1
振動規制法		1	1
三重県生活環境 の保全に関する 条例関係	ばい煙	2	1
	粉じん	0	0
	騒音	3	0
	振動	1	0
	揚水設備	1	0
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0
計		24	15

【特定建設作業に関する届出】

区 分	法律	条例
騒 音	件 31	件 3
振 動	21	2
計	52	5

○ 衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を図るため、公共施設等の煙霧消毒（動力2兼機11台保有）を行った（実施件数 8件）。

また、希望する一般市民にハチ防護服貸出を行った（実施件数 50件）。

2 伊勢公衆浴場組合に対する支援

市民の公衆衛生の確保を図るため、公衆浴場組合への支援策として、集客用の物品支援を行った。（支援先：8公衆浴場）

実施日	物品	金額
25. 5. 9	トイレトペーパー 600個 ボックスティッシュ 880個	円 68,092
25. 9. 5	トイレトペーパー 600個 ボックスティッシュ 880個	68,092
26. 2. 6	トイレトペーパー 600個 ボックスティッシュ 880個	68,092
計	—	204,276

3 動物の飼養又は収容の許可

化製場等に関する法律に基づき、動物の飼養又は収容の許可に関する事務を行った。（許可件数 2件）

○ 墓地関係

1 市営墓地管理

市が管理する大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地について、管理を行った。

(1) 業務委託

業務委託を行い、墓地環境の整備を図った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市営 大世古墓地	伊勢市営墓地 管理業務委託	墓地管理	円 156,000	25. 4. 1	26. 3. 31

大世古3丁目地内	市営大世古墓地除草業務委託	空き区画および通路の除草	円 525,000	25. 7. 25	25. 8. 8
大世古3丁目地内市営大世古墓地	市営大世古墓地墓石撤去業務委託	無縁墓石の撤去	420,000	25. 12. 12	25. 12. 24
伊勢市営大湊墓地	伊勢市営墓地管理業務委託	墓地管理	420,000	25. 4. 1	26. 3. 31
伊勢市営小俣若山墓地及び納骨堂	伊勢市営小俣若山墓地管理業務委託	墓地管理	379,296	25. 4. 1	26. 3. 31
伊勢市役所環境課	墓地管理システム運用保守業務委託	墓地管理システムの運用保守	176,400	25. 4. 1	26. 3. 31
計	6件	—	2,076,696	—	—

(2) 賃借業務

墓地管理システム及び駐車場を賃借し、利用者の利便を図った。

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地管理システム賃借料	25. 4. 1～26. 3. 31	円 75,390
墓地駐車場賃借料 (小俣若山墓地)	25. 4. 1～26. 3. 31	240,000
計		315,390

(3) 新規貸付区画

平成22年度から新規貸付を開始した大世古墓地を含め、返還された空き区画の有効活用を図った。

墓地名	平成25年度貸付区画数	残区画数
大世古墓地	11	26
大湊墓地	2	32
小俣若山墓地	5	1
計	18	59

※残区画数：平成26年3月末時点

2 墓地整備事業補助金

共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し費用の一部を補助した。

墓地名	事業費	補助金	摘要
灰之木原墓地	円 879,627	円 293,000	フェンス設置、通路改修、傾斜地落石防護工事

川 端 墓 地	円 252,685	円 84,000	洗い場移設改修、片屋根造り整備
一 誉 坊 墓 地	5,593,308	1,864,000	階段および参道整備
黒瀬町中崎共同墓地	200,000	66,000	コンクリート張り、ブロック積
今 一 色 墓 地	273,000	91,000	区画図面作成、水道蛇口交換
粟 野 墓 地	540,000	180,000	ブロック積、水道工事
宮川町共同墓地	136,080	45,000	ポンプ補修
天神・小町塚墓地	959,700	319,000	雑木林、竹林の伐採
村 松 墓 地	240,000	80,000	葬祭場鉄骨の再塗装
土路西条共同墓地	865,000	288,000	駐輪場、手摺りの設置
新高向墓地	101,850	33,000	ポンプ小屋の屋根増設
朝 熊 墓 地	250,000	83,000	水道管の設置、通路整備
一 宇 田 墓 地	168,000	56,000	ごみ置き場設置
中 須 町 墓 地	101,808	33,000	駐車場の舗装整備
黒 瀬 町 墓 地	300,000	100,000	通路整備
小 木 町 共 同 墓 地	217,350	72,000	通路整備
丸 山 墓 地	1,145,000	381,000	墓地内駐車場工事
朝熊町稲葉岡墓地	315,000	105,000	ろうそく・線香台の設置
東 大 淀 墓 地	2,486,662	828,000	駐車場の確保
磯 墓 地	546,000	182,000	井戸に電動給水ポンプの設置
有 滝 墓 地	745,500	248,000	休憩所屋根の張替と塗装
計	16,316,570	5,431,000	

○ 犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づく畜犬登録及び狂犬病予防注射を実施している。飼い犬管理システムによ

る情報管理を行い、平成 26 年 3 月 31 日現在の登録件数は 8,490 頭の登録がある。なお、平成 25 年度の新規登録件数は 449 頭、狂犬病予防注射件数 5,587 頭（うち獣医師等による接種頭数 4,010 頭）であった。

2 犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬や猫の適正飼育を図るため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区 分	犬 雄	犬 雌	猫 雄	猫 雌	合 計
助成額	3,000 円/件	4,000 円/件	2,500 円/件	3,500 円/件	—
交付件数	83 件	82 件	188 件	277 件	630 件
交付額計	249,000 円	328,000 円	470,000 円	969,500 円	2,016,500 円

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、明和町、玉城町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、し尿等処理、火葬業務を衛生的、効率的に行った。

1 平成 25 年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	し 尿	斎 場	計	
共 通 経 費	千円 2,599	千円 480	千円 3,079	平等割 10% 加入事務数割 90%
運 営 経 費	150,466	27,805	178,271	実績割 100%
建 設 経 費	24,705	5,867	30,572	平等割 10%、人口割 90%
公 債 費	13,517	—	13,517	元利補給金
合 計	191,287	34,152	225,439	

2 平成 25 年度クリーンセンター し尿・浄化槽汚泥投入量及び処分量

月分	伊 勢 市	他町（玉城町・度会町）	計
	t	t	t
4	3,692	881	4,573
5	3,817	979	4,797
6	3,972	927	4,899
7	4,360	1,470	5,831
8	3,404	804	4,209
9	3,658	854	4,513
10	4,730	971	5,702
11	4,056	828	4,884
12	3,878	915	4,793
1	3,294	734	4,029
2	3,485	844	4,330
3	4,831	1,189	6,021
合計	47,183	11,402	58,586

※端数処理のため、合計値が合わない

3 年度別クリーンセンター処理実績の推移

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
伊勢市	48,442 ^t	46,818 ^t	47,183 ^t
他町 (玉城町・度会町)	10,507	10,097	11,402
計	58,949	56,916	58,586

※端数処理のため、合計値が合わない

※市内し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 10 業者、許可車両台数 28 台

4 平成 25 年度斎場利用状況

区 分	伊勢市	管内他町 (明和町・玉城町・度会町)	管外	計
12 歳以上の者	1,458 ^件	466 ^件	83 ^件	2,007 ^件
12 歳未満の者	6	1	0	7
死 産 児	15	4	3	22
合 計	1,479	471	86	2,036
胞衣汚物				50
霊安室利用				7

5 年度別斎場利用実績の推移（胞衣汚物及び霊安室利用を除く。）

区 分	23 年度	24 年度	25 年度
伊勢市	1,470 ^件	1,468 ^件	1,479 ^件
管内他町 (明和町・玉城町・度会町)	477	479	471
管外	83	82	86
計	2,030	2,029	2,036

○ 水道法関係

水源及び水道施設並びにこれらの周辺の清潔保持並びに水の適正かつ合理的な使用を行うために水道法（専用水道、簡易専用水道）、三重県小規模水道条例に基づく施設を設置する事業者に対し、各種届出受理業務を行った。

種 類	設置届	廃止届
水道法（専用水道）に基づく届出	1	0
水道法（簡易専用水道）に基づく届出	5	2
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0

清 掃 課

○ ごみゼロ推進関係

1 「伊勢市ごみ処理基本計画」の推進

(1) 啓発事業

ア. 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

広報いせ「めざせ！ごみゼロのまち」コーナー及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」によりごみの分け方・出し方を周知し、また、時期に応じて排出されるごみに着目した記事により適正排出を啓発した。

イ. 自治会に対する説明会等の開催

依頼があった自治会等を対象に、ごみの分別や資源化に関する説明会を開催し、地域での分別及び資源化意識の向上を図った。

(2) 調査事業

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入など分別状況を把握した。

ア. 実施日 平成 25 年 11 月 21 日及び 22 日

イ. 分別状況

品目	割合	品目	割合
生ごみ	% 36.3	段ボール	% 0.2
その他の燃えるごみ	40.8	布・衣類	2.1
雑誌・雑紙類	8.6	プラスチック製容器包装	6.9
新聞・折込チラシ	3.8	ペットボトル	0.3
飲料用紙パック	0.3	不燃ごみ	0.7

2 ごみの適正処理

(1) ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去 5 年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

ア. ごみ排出量の推移

年 度	21 年度	22 年度	対前年 年度増減	23 年度	対前年 年度増減	24 年度	対前年 年度増減	25 年度	対前年 年度増減
燃える ごみ	t 44,015	t 42,426	% △3.6	t 42,814	% 0.9	t 43,111	% 0.7	t 42,828	% △0.7
粗大ごみ	1,618	1,459	△9.8	1,466	0.5	1,530	4.4	1,236	△19.2
小 計	45,633	43,885	△3.8	44,280	0.9	44,641	0.8	44,064	△1.3
資源物	6,608	6,303	△4.6	6,187	△1.8	6,390	3.3	6,379	△0.2
缶・ 金属類	1,389	1,166	△16.1	1,211	3.9	950	△21.6	836	△12.0
投棄場 搬入量	955	933	△2.3	967	3.6	646	△33.2	1,200	85.8
合 計	54,585	52,287	△4.2	52,645	0.7	52,627	△0.0	52,479	△0.3

(注) 対前年度増減 (%) = (当該年度 - 前年度) / 前年度 × 100

(注1) 上表の「資源物」に「缶・金属類」は含まない。

イ. ごみの各平均排出量

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
各 年 度 末 人 口 (人)	134,049	133,527	132,899	132,058	131,289
各 年 度 末 世 帯 数 (世帯)	53,406	53,690	53,812	53,840	54,193
総 ご み 排 出 量 (t)	54,585	52,287	52,645	52,627	52,479
1 日 平 均 排 出 量 (t/日)	149.54	143.25	144.23	144.18	143.77
1 日 1 人 平 均 排 出 量 (g/人・日)	1,115.6	1,072.8	1,085.3	1,091.8	1,095.1
1 日 1 世 帯 平 均 排 出 量 (g/世帯・日)	2,800.2	2,668.1	2,680.3	2,678.0	2,653.0

(注) 各年度末人口・世帯数は町別統計（住民基本台帳）を引用。

ウ. 処理経費の推移

年 度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
処理経費	円 1,741,906,000	円 1,796,480,000	円 1,517,192,000	円 1,463,028,000	円 1,502,252,000
ごみ1t当りの 処理経費	31,912	34,358	28,819	27,800	28,626
1人当りの 処理経費	12,995	13,454	11,416	11,079	11,442
1世帯当りの 処理経費	32,616	33,460	28,194	27,174	27,720

(注) 処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値。

(人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。)

(2) 資源物の売却及び委託量並びに売却額

市内に設置した資源ステーション、資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。また、過去3年間の売却及び委託量その他の推移は、次のとおりであった。(売却及び委託量には、清掃工場への直接持込分も含む。(紙類・布類及び乾電池を除く。))

ア. 資源びん

年 度	品 目	売却又は 委託量	売却額	売却又は委託先
23 年度	無 色	kg 515,290	円 541,055	東洋カレット (株)
	茶 色	383,380	201,275	東洋カレット (株)
	その他の色	146,030	△129,967	(株) ヤマムラ
	計	1,044,700	612,363	—
24 年度	無 色	515,640	270,186	東洋カレット (株)
	茶 色	391,260	205,412	東洋カレット (株)
	その他の色	147,000	△95,256	トーエイ (株)
	計	1,053,900	380,342	—
25 年度	無 色	497,970	261,434	東洋カレット (株)
	茶 色	386,490	202,907	東洋カレット (株)
	その他の色	147,070	△82,359	(株) ヤマムラ
	計	1,031,530	381,982	—
計	無 色	1,528,900	1,072,675	—
	茶 色	1,161,130	609,594	
	その他の色	440,100	△307,582	
	計	3,130,130	1,374,687	—

(注) 売却額△表示は、委託単価(逆有償)を示す。

イ. 紙類・布類

年 度	品 目	売却量	売却額	売 却 先
23 年度	新聞・ 折込チラシ	kg 1,054,820	円 8,438,560	(有) いせ梅田 (株) 幸伸
	雑誌・ 雑紙類	1,293,930	9,057,510	
	段ボール	726,950	6,110,890	
	飲料用 紙パック(注)	25,670	287,175	
	同(200ml)	20	60	
	布・衣類	191,460	389,885	
	計	3,292,850	24,284,080	
24 年度	新聞・ 折込チラシ	1,090,770	8,096,600	(株) 幸伸 (有) いせ梅田
	雑誌・ 雑紙類	1,271,660	7,154,430	
	段ボール	721,200	4,549,164	
	飲料用 紙パック(注)	24,470	226,841	
	同(200ml)	0	0	
	布・衣類	177,980	300,757	
	計	3,286,080	20,327,792	
25 年度	新聞・ 折込チラシ	1,130,560	7,120,977	(有) いせ梅田 (株) 幸伸
	雑誌・ 雑紙類	1,276,160	6,831,010	
	段ボール	755,190	4,725,179	
	飲料用 紙パック(注)	24,460	136,812	
	同(200ml)	0	0	
	布・衣類	180,920	200,707	
	計	3,367,290	19,014,685	
計	新聞・ 折込チラシ	3,276,150	23,656,137	—
	雑誌・ 雑紙類	3,841,750	23,042,950	
	段ボール	2,203,340	15,385,233	
	飲料用 紙パック(注)	74,600	650,828	
	同(200ml)	20	60	
	布・衣類	550,360	891,349	
	計	9,946,220	63,626,557	

(注) 飲料用紙パックのうち、容量 200ml 以外のもの。

ウ. ペットボトル

年 度	売却量	売却額	売 却 先
23 年度	kg 341,015	円 25,110,823	(株) クリントック
24 年度	347,740	16,510,607	(株) クリントック (株) サン・テス
25 年度	349,957	11,186,078	(株) クリントック (有) 伊藤総合 コンサルタンツ
計	1,038,712	52,807,508	—

エ. プラスチック製容器包装

年 度	委託量	委託料	委 託 先
23 年度	kg 959,150	円 498,758	(株) 斉藤商店 (有) 山川商事
24 年度	942,740	461,943	新日鐵住金 (株) (有) 山川商事
25 年度	933,300	447,984	新日鐵住金 (株) (有) 山川商事
計	2,835,190	1,408,685	—

オ. ガラス・くずびん類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
23 年度	kg 148,380	円 1,821,216	トーエイ (株)
24 年度	146,260	1,764,554	トーエイ (株)
25 年度	142,910	1,715,134	トーエイ (株)
計	437,550	5,300,904	—

(注) ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びんなどのこと。

カ. 陶磁器類

年 度	委託量	委託料	委 託 先
23 年度	kg 287,440	円 5,553,341	(株) ヤマムラ
24 年度	277,560	5,245,884	(株) ヤマムラ
25 年度	268,300	4,930,012	(株) ヤマムラ
計	833,300	15,729,237	—

キ. 乾電池

年 度	委託量	委託料 (参考)	委 託 先
23 年度	t 52	円 4,477,200	野村興産 (株)
24 年度	46	3,960,600	野村興産 (株)
25 年度	44	3,788,400	野村興産 (株)
計	142	12,226,200	—

(注) 伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため、委託料は参考値。

ク. 蛍光管

年 度	委託量	委託料 (参考)	委 託 先
23 年度	t 32	円 2,822,400	野村興産 (株)
24 年度	29	2,557,800	野村興産 (株)
25 年度	28	2,469,600	野村興産 (株)
計	89	7,849,800	—

(注) 伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため、委託料は参考値。

ケ. 小型家電

年 度	売却量	売却額 (参考)	委 託 先
24 年度	t 171	円 897,750	トーエイ (株)
25 年度	180	1,146,262	トーエイ (株)
計	351	2,044,012	—

(注) 平成 24 年 5 月から缶・金属類の回収においてピックアップ方式により試験的に実施した。

なお、伊勢広域環境組合から提供を受けた売却量が概数であるため、売却額は参考値。

コ. 鏡

年 度	委託量	委託料 (参考)	委 託 先
24 年度	t 2	円 199,500	野村興産 (株)
25 年度	2	199,500	野村興産 (株)
計	4	399,000	—

(注) 伊勢広域環境組合から提供を受けた委託量が概数であるため、委託料は参考値。

サ. 資源化率の推移

年 度	23 年度	24 年度	25 年度
資源化率	% 18.40	% 18.47	% 18.42

(注) 資源化率 (%) = (再生資源回収団体の資源回収量 + 市の資源回収量) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

市の資源回収量 = (市で回収した資源物量) + (粗大ごみ処理施設で選別した鉄・アルミ回収量)

3 3Rの推進

(1) マイバッグ持参・レジ袋有料化の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会構築を目指し、市民・事業者・行政が連携・協力して、マイバッグ持参運動を推進するためにレジ袋有料化の取り組みを行った。

(2) 指定袋制度運営事業

ごみの減量及び資源化を推進するため、燃えるごみの指定ごみ袋制を実施した。

ア. 種 類 3 種類 (大袋 45ℓ、中袋 30ℓ、小袋 15ℓ) 1 袋 : 10 枚入
高密度ポリエチレン製、半透明

イ. 販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売
(平成 26 年 3 月 31 日現在 販売店登録数 301 店舗)

ウ. 販売価格 希望小売価格制度にて販売
市の提示する希望小売価格 (大袋 75 円、中袋 54 円、小袋 37 円 : 税別)

エ. 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額 (2ヵ年単価契約)	着手	完了
伊勢市地内	伊勢市指定 ごみ袋納入 業務委託	伊勢市指定ごみ袋 の納入、保管、配 送、受け払い、配 送量報告及び数量 管理報告業務	1袋10枚入 単価 大袋 58.0円 ×629,950袋 中袋 39.5円 ×176,450袋 小袋 27.0円 ×82,450袋 45,733,025円	23.12.27	26.3.31

(3) ごみ減量化容器設置補助金事業

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民・事業者に対し補助金を交付した。(以下は過去3年間の推移)

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
23年度	95件	121基	1,788,400円
24年度	85	108	1,180,000
25年度	93	111	1,404,900
計	273	340	4,373,300

(4) 廃食用油回収事業

地球温暖化防止と循環型社会の形成のため、ごみの減量化、資源化の推進事業として、市内全域を対象に廃食用油を回収し、再生利用を行った。

ア. 廃食用油回収容器設置場所 39箇所(拠点ステーション・公共施設ほか)

イ. 公共施設 44箇所(小・中学校、中学校給食共同調理場ほか)

ウ. 回収状況(以下は過去3年間の推移)

年 度	廃食用油回収量
23年度	31,643ℓ
24年度	30,165
25年度	27,665
計	89,473

(5) エコキャップ推進運動

ペットボトルのキャップをプラスチック製容器包装として分別回収しているが、市民がエコキャップ運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーション、各総合支所生活福祉課窓口、各支所窓口、市役所環境課窓口、清掃課にエコキャップ回収容器を設置した。(以下は過去3年間の推移)

年度	重さ	個数(約)	ポリオワクチン
23年度	kg 4,819.0	個 1,927,600	人分 2,409.5
24年度	6,445.0	2,694,910	3,222.5
25年度	7,617.8	3,024,620	3,517.0
計	18,881.8	7,647,130	9,149.0

4 排出環境の整備

(1) 廃棄物集積所設置補助事業

燃えるごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。(以下は、過去3年間の推移)

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
23年度	件 98	基 354	円 54,471,658
24年度	45	57	5,225,947
25年度	53	76	5,967,458
計	196	487	65,665,063

(注) 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

(2) 廃棄物投棄場管理事業

ア. 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区 分	伊勢			小俣			計		
	車数	搬入量	手数料収入	車数	搬入量	手数料収入	車数	搬入量	手数料収入
市民自己搬入分	車 125	kg 73,410	円 130,000	車 144	kg 61,435	円 174,000	車 269	kg 134,845	円 304,000
公共関係搬入分	856	1,064,544	—	1	790	—	857	1,065,334	—
計	981	1,137,954	130,000	145	62,225	174,000	1,126	1,200,179	304,000

イ. 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進、廃棄物投棄場を適正管理するため下記の事業を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
朝熊町 地内ほか	伊勢市廃棄物投棄場の地下水等水質調査	6か所	円 1,044,750	25. 11. 06	26. 3. 14
朝熊町 地内	ガレキ類再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 101.34t 瓦類 34.11t	715,941	25. 7. 24	25. 8. 22
〃	土砂再資源化業務委託	引取量 300.35t	4,872,427	26. 1. 22	26. 3. 20
計	3件	—	6,633,118	—	—

5 啓発・教育の推進

(1) 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリーダーとして 169 自治会より推薦された 340 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみ減量、リサイクルの普及・啓発、ごみの分別・出し方の指導等の役割を依頼した。

(2) 再生資源回収事業奨励金

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。(以下は、過去3年間の推移)

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量					奨励金 交付額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	び ん	
23年度	団体 162	団体 156	kg 2,891,890	kg 54,384	kg 71,256	kg 3,017,530	本 5,715	円 18,122,080
24年度	163	159	2,809,763	51,665	66,122	2,927,550	5,309	8,798,300
25年度	164	157	2,826,125	53,100	69,009	2,948,234	4,680	8,858,540
合計	489	472	8,527,778	159,149	206,387	8,893,314	15,704	35,778,920

(注) 1kg 当たり 3円、リターナブルびんについては 1本 当たり 3円の奨励金を交付した。

(平成 23 年度までは 1kg 当たり 6円、リターナブルびんについては 1本 当たり 3円)

(3) ごみの分別等についての説明会の実施

希望する団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について説明会を実施した。また、廃食油の再資源化の説明会を行った。

(説明会開催回数 延べ 26 回、参加人員 延べ 497 人)

(4) ごみカレンダーの作成

地区別ごみの収集日を記載した「平成 26 年度版ごみカレンダー」を 65,000 部作成し、広報いせ 3 月 1 日号と同時に全戸に配布した。

(5) 伊勢市環境会議（ごみ関係）

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

平成 25 年度実施事業

実施日	実施事業名	概要	備考
25. 7. 20	お白石持行事奉祝ごみゼロ早朝清掃	20 年に 1 度の式年遷宮に向けて、お白石持行事の奉曳区域を中心に早朝清掃をした。	参加者 約 500 人 可燃ごみ 350kg 不燃ごみ 10kg
25. 10. 13	ごみゼロポスターコンクール表彰式	家庭でごみ問題について話し合うきっかけづくりとして、市内小中学校へ「3R の推進」「ポイ捨て・不法投棄の防止」などをテーマに作品募集を行い、環境フェアにおいて受賞者への表彰式を開催した。	受賞者 計 66 名 (応募作品数 932 作品)

6 不法投棄防止対策事業

(1) パトロール及び不法投棄監視カメラによる防止対策

不法投棄防止に対する啓発看板の作成及び配布とともに、市内 4 か所に設置した監視カメラ（移動式）で、不法投棄の未然防止に努めた。

(2) 不法投棄の通報への対応

市民の通報を受け、現場で投棄物の調査を行い、投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、再発の防止に努めた。投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。なお、投棄場所が私有地の場合は、所有者に連絡して対応を求めた。

不法投棄物回収実績：テレビ 141 台、冷蔵庫 36 台、洗濯機 22 台、エアコン 7 台
タイヤ 159 本 他

7 広告収入の推進

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、じん芥収集車両・指定袋・ごみカレンダーにおいて広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

事業名	広告媒体	広告掲載数	収入額
じん芥収集車両掲載 広告事業	じん芥収集車両	8	1,278,000 円
指定袋制度運営事業	指定袋	12	640,000
ごみ減量・資源化事 業一般経費	ごみカレンダー	20	600,000
計	—	40	2,518,000

○ 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物（燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体）を車両 39 台、収集人員 58 名の体制（一部民間委託）で収集を行った。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 4 市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、ハッピーマンデー（年 4 回：海の日、敬老の日、体育の日、成人の日）、年末（12 月 29 日、30 日予定）について臨時収集を行った。

1 収集体制

（1）収集車両

ア．所管している車輛

一般廃棄物の収集を 39 台の車両で行った。

4 t パッカー	3 t パッカー	2 t パッカー	2 t ダンプ	2 t パワー リフト
2 台	8 台	13 台	5 台	2 台

2 t トラック	1 t トラック	軽 四 ダンプ	軽 四 トラック	計
3 台	1 台	4 台	1 台	39 台

イ. 車両の購入

耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。

種 別	台数	金 額
3 t パッカー	台 2	円 11,681,440

ウ. 車両の売却

老朽化等により不要となった車両をインターネットオークションに基づき売却を行った。

種 別	金 額	種 別	金 額
2 t パッカー	円 1,509,000	2 t パッカー	円 1,329,000
		計	2,838,000

(2) 収集人員

一般廃棄物の収集を 58 名の人員で行った。

職員	嘱託職員	計
名 55	名 3	名 58

(3) 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を伊勢市シルバー人材センター、粗大ごみ収集運搬業務の一部を民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区及び小俣町地区の資源物収集運搬業務の一部、及び御菌町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務の一部を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区及び御菌町地区）に基づき、旧伊勢市地区の 3 業者、小俣町地区の 2 業者、御菌町地区の 1 業者に委託した。

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	資源物回収袋洗浄等業 務委託	回収袋の洗浄及び 補修業務委託 一式	円 11,067,840	25. 4. 1	26. 3. 31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬業務委託	町内一斉粗大ごみ 収集運搬業務委託 一式	1,212,750	25. 4. 1	26. 3. 31
伊 勢 市 地 内 (旧伊勢市 地 区)	一般廃棄物収集運搬 (その1)業務委託	資源物(資源びん、 紙・布類、プラス チック製容器包 装)収集運搬業務 委託 一式	63,249,900	25. 4. 1	26. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その2)業務委託	資源物(資源びん、 紙・布類、ペット ボトル)収集運搬 業務委託 一式	54,890,850	25. 4. 1	26. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その3)業務委託	資源物(プラスチ ック製容器包装) 収集運搬業務委託 一式	32,792,550	25. 4. 1	26. 3. 31
小 俣 町 地 内	一般廃棄物収集運搬 (その4)業務委託	資源物(プラスチ ック製容器包装、 紙類、ペットボ トル)収集運搬業 務委託 一式	12,123,300	25. 4. 1	26. 3. 31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その5)業務委託	資源物(資源びん、 布類、ガラス・く ずびん類、陶磁器 類、プラスチック 製容器包装回収袋 配置、ペットボ トル回収袋配置)収 集運搬業務委託 一式	7,047,600	25. 4. 1	26. 3. 31
御 菌 町 地 内	一般廃棄物収集運搬 (その6)業務委託	燃えるごみ、資源 物(缶・金属類、資 源びん、紙・布類、 プラスチック製容 器包装、ペットボ トル、ガラス・くず びん類、陶磁器類) 収集運搬業務委託 一式	22,171,800	25. 4. 1	26. 3. 31
計	8 件	—	204,556,590	—	—

(4) 備品関係

老朽化に伴い、資源物回収用の網袋の洗浄に使用している高圧温水洗浄機を更新した。

施行場所	物品名	購入概要	金額	着手	完了
西豊浜町地内	高圧温水洗浄機	基 1	円 423,360	25. 8.29	25. 9.25

2 燃えるごみの収集状況

(1) 一般収集

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区（月・木曜日地区、火・金曜日地区）に分け、旧伊勢市地区、二見町地区、小俣町地区を収集15コース（3月のみ14コース）にて週2回収集した。御菌町については、業務委託により同様に週2回収集を行った。

有料収集については、戸別に粗大ごみ等の収集を行った。

町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により年1回、収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に伴い発生するごみについては、随時収集を行った。

燃えるごみ		粗大ごみ		計	
延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量	延べ収集車数	収集量
車	kg	車	kg	車	kg
21,656	26,199,170	357	195,500	22,013	26,394,670

3 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御菌町地区2）に分け、997箇所の資源ステーションを設置し、プラスチック製容器包装は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部115箇所で適時収集を行った。

区分	収集量	区分	収集量
缶・金属類（注）	kg 947,690	布・衣類	kg 180,920
資源びん	1,225,460	ペットボトル	456,290
新聞・折込チラシ	1,130,560	プラスチック製容器包装	1,126,840
雑誌・雑紙類	1,276,160	ガラス・くずびん類 陶磁器類	458,940
段ボール	755,190	蛍光管	21,105
飲料用紙パック	24,460	計	7,603,615

（注）乾電池の収集量を含む。

4 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成14年度から順次開設している。開設状況としては、平成25年度末現在で19か所開設（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御菌及び明野）し、支所での管理のほか、伊勢市シルバー人材センター及び地元自治会にステーションでの受付等の業務を委託した。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション 受付等業務委託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	【単価契約】 800円～1,200円 /人日 事務費8% 8,057,493円	25. 4. 1	26. 3. 31
宮後2丁目 地内	伊勢中央資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	1,900,000	25. 4. 1	26. 3. 31
宇治浦田 2丁目 地内	宇治資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	25. 4. 1	26. 3. 31
中須町 地内	城田資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	25. 4. 1	26. 3. 31
二見町三 津地内	二見資源拠点ステ ーション受付等業務委 託	資源物受付及び搬 入車両誘導等業務 一式	700,000	25. 4. 1	26. 3. 31
計	5件	—	12,057,493		—

5 一般廃棄物処理手数料

(1) 粗大ごみ等の有料収集手数料として567件、2,369,300円を徴収した。

また、猫等の小動物427体の死体収集を行い、そのうちペットとして飼われていた67体については、1体につき1,050円の手数料として、70,350円を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
有料収集	件 567	円 2,369,300
小動物の死体	67	70,350
計	634	2,439,650

(2) 以下の天災等特別な事由により発生した一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災	台風	竜巻	大雪	生活保護	計
件数	12 件	2 件	1 件	5 件	1 件	21 件

6 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けているお年寄りや身体が不自由な方など、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行うふれあい収集事業を実施した。(収集回数 52 回、収集量 9,480kg)

利用希望者の申請をもとに 6 回の審査会を開催し、7 件の審査の結果 4 件の実施を決定した。

○ 伊勢広域環境組合

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の 1 市 3 町で構成する伊勢広域環境組合で、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう努めた。

平成 25 年度分担金内訳

区 分	伊 勢 市 分			備 考
	ご み	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 5,382	千円 1,058	千円 6,440	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	311,529	61,244	372,773	実績割 100%
建設経費	312,314	—	312,314	平等割 10% 人口割 90%
公債費	193,090	—	193,090	元利補給金
清掃事業所負担金	2,560.8	—	2,560.8	
計	824,875.8	62,302	887,177.8	